

令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

岡山県

（地域における現状・課題）

県南中心部とその周辺部等では、受け皿となる団体や指導できる地域人材の「量」の確保等に大きな差があるなど、地域によって実態が様々である。今後は、地域スポーツ・文化振興担当部署等が中心となって、教育委員会や学校と連携を図りながら取り組む必要がある。

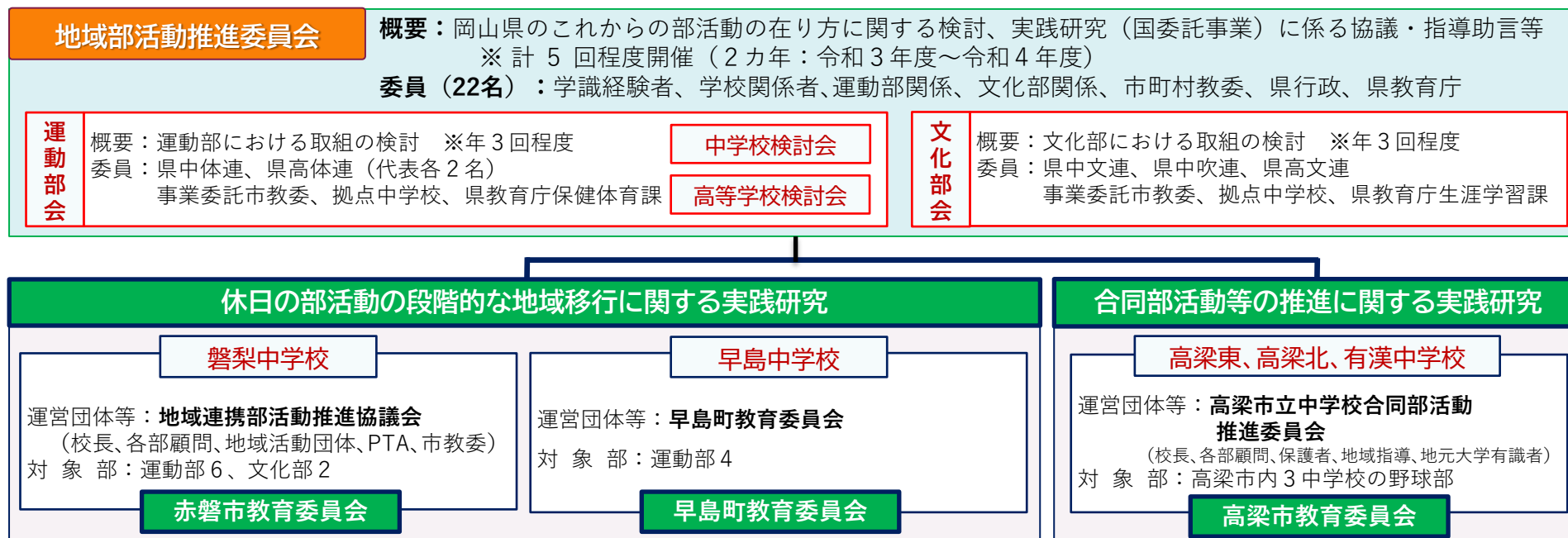
（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

1市1町に事業を再委託し、モデル地域における地域移行の推進に向けた体制整備等の取組を行い、実践研究の成果や課題等について、「地域部活動推進委員会」で協議・検討を行った。また、地域移行支援コーディネーター（6名）の派遣（10市町村へ15回）や、地域移行説明会の開催（3回）等により、市町村での地域移行に向けた取組の支援を行った。

（実践研究の成果）

- 【赤磐市】・地域人材による休日の指導を6競技で実施。 ・教員の超過勤務時間20.4%縮減。
- 【早島町】・剣道や卓球において、部活動指導員を中心とした運営体制が構築され、今後の地域移行に向けた取組や、他の競技への参考となる取組ができた。

（運営体制図）



令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

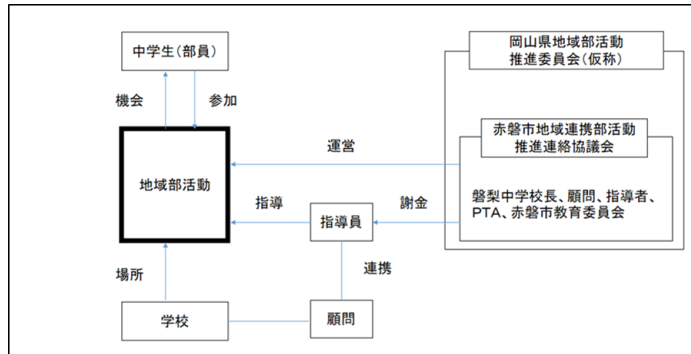
赤磐市

（地域における現状・課題）

・地域連携部活動推進モデルとして、地域連携部活動推進協議会「磐梨DreamTownプロジェクト」を設立・運営。今年度は、運動部活動6部活が実践研究に取り組んだ。

- ◆課題
- ・指導者の確保
- ・運営資金の確保
- ・社会教育との連携

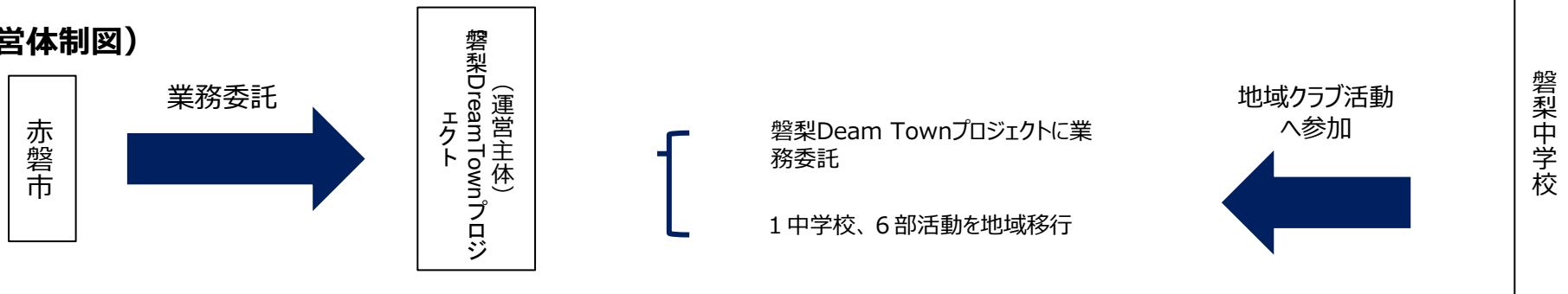
（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）



（実践研究の成果）

- 令和4年4月～令和5年2月までの期間土日のどちらかを地域指導員の指導で実施する。
 - ・運動部、6部活で活動実施。
- 教員の超過勤務時間を30%減少させる。
- ・R3とR4磐梨中学校教職員の月平均の超過勤務時間 R3月平均:47.16時間→R4月平均:37.54時間
- 各部活動に専門的な指導が可能な者を配置する。
 - ・運動部、全6部活に地域指導員を配置。

（運営体制図）



令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

早島町

（地域における現状・課題）

早島町では、運動部9、文化部2の11部活があり、平成30年度より部活動指導員を中学校に配置し、教員の負担軽減と部活動の充実を図ってきた。部活動指導員のみでの指導や引率等も行っている部活動もあるが、指導員を雇用しても年度途中で職を辞することもあるなど、継続的な雇用に課題があり、今の体制では地域移行に向けて、継続して行うことは難しい。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：早島町教育委員会

活動場所：早島中学校

指導者：部活動指導員

移動手段：徒歩、自転車

責任主体：早島町教育委員会

活動種目：剣道、卓球、ソフトテニス、サッカー

会費等：0円

保険：0円（災害共済給付にてカバーしている）

（実践研究の成果）

顧問と指導員の間で連絡を密に取りながら部活動指導を進めているため、同じ目線で指導が行うことができていることが、負担の軽減に繋がっていると感じている教員が多い。また、生徒の指導員の指導に関する満足度は高く、指導者として信頼関係が構築することができている。剣道や卓球においては、指導員を中心とした運営体制となりつつあり、地域移行に向けての体制の整備が進んでいる。この2部活を中心に他の部活も地域移行に向けて展開していきたい。

（運営体制図）

